

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

唐津焼グローバルブランド創出計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

唐津市

### 3 地域再生計画の区域

唐津市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### (1) 背景

唐津市は、佐賀県の北西部に位置し、平成 17 年 1 月に 8 市町村が合併、平成 18 年 1 月に 1 村が加わり、人口約 133 千人、総面積 487.45k m<sup>2</sup>となった。市域には、「虹の松原」に代表される美しく変化に富んだ自然を有している。また、魏志倭人伝に「末盧国」と記載され、「唐津」の地名は、大陸（唐）の港（津）に由来するといわれ、古代より大陸との交流が盛んであり、これらを背景に、農林水産業をはじめとする産業や唐津焼等の伝統的な地域文化が育ち、優れた観光地として発展してきた。

唐津市の伝統産業として全国に愛好者を持つ唐津焼は、桃山時代に、朝鮮半島出身の陶工たちにより本格的に焼かれるようになったといわれており、その窯の火は 400 年経ったいまも絶えることなく燃え続けている。現在、窯元数は唐津市内だけでも兼業を含め 60 数箇所ある。

しかし、統計データがある唐津焼協同組合及び武雄古唐津焼協同組合<sup>たけおこ</sup>の企業の状況を見ると、ここ数年、窯元数は横ばいでありながら、従業員数は減少してきている。特に出荷額は、10 年前と比べて半減しているなど、経営環境の悪化と同時に、後継者の確保及び産業従事者の高齢化も課題となっている。

#### 【唐津焼産業推移（組合加盟企業ベース）】

区分	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年
企業数（件）	31	29	29
従業員数（人）	132	129	105

## (2) 唐津焼の課題

唐津焼の経営環境の悪化は、景気の影響によるものだけではなく、唐津焼産業の特性によるものでもある。唐津焼窯元の経営体制のほとんどが4名以下の家内工業的状況であり、営業、材料の手配、作品・商品製作、流通・販売といった流れが分業化・システム化されていないことも、産業的発展を滞らせている原因の一つである。唐津焼は伝統工芸品であるがゆえに、既成の概念を護る傾向が強い産業であり、現行のままでは多くの工程が手作業によるため、産業として飛躍的に発展する可能性が高いとは言い難い。さらに、販路については個々の窯元が独自に開拓したルートや店舗での販売がその主流となっており、組織として販路開拓を行うことはほとんど見受けられない状況である。

今後、唐津焼が産業として確立し、持続発展するためには、熟練技能の継承はもとより、作り手が芸術的工芸家の域を脱する必要がある。具体的には、科学技術等を活用した素材の研究開発や、プロダクトアウトからマーケットインへの考え方に基づく顧客志向の商品の企画・開発、新しい流通形態への対応・開拓などの能力が求められている。よって、地域伝統工芸としてのローカルブランドを継承しつつ、グローバルに発信・展開する“グローバルブランド”の創出を目指した新たな挑戦ができる人材の育成が急務となっている。

## (3) 市の方針

唐津市における唐津焼の振興方針は、合併後策定した新市の総合計画における34の重点プロジェクトの中の一つに、「世界に誇る唐津焼拠点づくりプロジェクト」として位置づけられており、その中で次のとおり重点施策を掲げている。

No.	重点施策	内容
①	人材育成	唐津焼に携わる後継者の確保及び育成並びに技術・技法の継承の支援
②	産業振興	需要開拓及び世界に向けた情報発信の推進、唐津焼の拠点づくり
③	史跡整備	歴史的遺産の保存・整備

これらを踏まえ、市では、歴史的遺産の保存・整備として、唐津焼発祥の地とされる「岸岳古窯跡」<sup>きしだけこようせき</sup>や市街地にある「お茶盃窯跡」<sup>おちやわんかまあと</sup>を「肥前陶器窯跡」として国の史跡の指定を受け、公開・保全の整備を進めている。

また、行政と産業界が連携し、観光面、産業面において唐津市の活力資源となる唐津焼の拠点づくりに向けた戦略について検討を進めている。

さらに人材育成面では、伝統工芸唐津焼の産業再生の中核となる人材を育成してい

くこととしている。

#### (4) 目 標

本地域再生計画の目標は、地域の知の拠点である国立大学法人佐賀大学（以下「佐賀大学」という。）との連携を通じて、佐賀大学の有するシンクロトロン光施設等の先端科学技術や戦略的経営技術、伝統工芸技術を融合させ、新素材・商品の開発演習、流通設計及び販売演習、ブランディング活動などの実践的な教育手法を導入することで、今後の唐津焼産業の中核となりうる戦略的発想能力を持った人材を養成することである。

また、本取組により、優秀な工芸人材、経営人材を養成し、各窯元や事業者に送り出すことにより、唐津焼産業の経営高度化およびブランド力の向上を支援し、産業の経済的安定化、後継者確保に貢献する。さらに、技術的イノベーションを起すことで、唐津焼の多面的な有効活用を可能とし、観光をはじめとする地域産業全体の振興に貢献でき、今後の地域活性化に大きく寄与するものである。

(具体的な目標)

■人材養成数                    30名（平成24年度末まで）

■唐津焼産業出荷額（市内専業窯元推定額）

10億円（平成18年度） → 11億円（平成24年度末） 10%増

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

本事業は、唐津市が合併後策定した新市総合計画の重点プロジェクト「世界に誇る唐津焼拠点づくりプロジェクト」に基づき、佐賀大学が、文部科学省の「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムの支援を受けて産学官の連携により、先端科学技術、伝統工芸技術、経営戦略技術の融合による人材養成プログラムを推進することで、地場産業の活性化を促し、地域再生に資することを目指している。

具体的には、佐賀大学、唐津市及び唐津焼協同組合が連携して「戦略的発想の能力を持った唐津焼産業人材養成」プログラムを開設・運営する。

また、市の独自施策として、異業種を含む産業界の連携を進める「唐津焼拠点づくりネットワーク」の構築事業や、唐津焼を含む地域資源を活用した新事業展開による創業・起業の支援事業などを通して、養成人材の活躍できる環境の整備も推進していく。

## 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当無し

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域再生計画と連動した支援措置を適用して行う事業

#### (1) 支援措置の番号及び名称

番号：B0801

名称：科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム

#### (2) 事業概要

①事業名：戦略的発想能力を持った唐津焼産業人材養成

②実施機関：国立大学法人佐賀大学

③実施期間：平成20年7月～平成25年3月

④活動概要：

本プログラムは、唐津焼が産業として持続発展するために、新たな領域に取り組める戦略的な発想能力と感性を持った人材の育成を目的とする。

養成対象は、唐津焼産業従事者や、将来、唐津焼産業に携わろうとする者等とし、3年制のプログラムで「基礎課程」及び「コア研究課程」を設け、先端科学技術、伝統工芸技術、戦略的経営技術について習得する場を提供する。

養成修了者は、窯元、組合などで実際に産業に携わり、新領域の取り組みを実践することで、唐津焼産業の振興を図る。また波及効果として、成形性の制御を可能とすることで創作的志向によりインテリア商品や生活嗜好品などへの転用、「土もの」という環境にやさしい特性を生かした建材開発・資材開発が期待できる。さらには、一般流通に耐えうる唐津焼の創出により、旅館業や飲食店へ使いやすい伝統工芸品としての唐津焼食器を提供することで、唐津焼を使用した食のサービスを常時実現することが可能となり、観光業・飲食業の振興につなげることができる。

### 5-3-2 支援措置によらない独自の事業

#### (1) 唐津焼拠点づくりネットワーク事業

観光面、産業面において、本市の活力資源となる唐津焼の拠点づくりにむけた戦略の策定およびその実践を進めていくために、行政と産業界が連携し、人と人をつなぐ「唐津焼拠点づくりネットワーク」を構築する。当該ネットワークにより、唐津焼生産地としての「地域ブランド」の確立及び地場消費の拡大を目指すとともに、「世界

に誇る唐津焼」として情報発信できる体制整備を進めていく。

## (2) 唐津焼創業・起業支援事業

### ①唐津焼起業家支援セミナー事業

唐津焼を含む地域資源を活用した新事業展開による創業を促すため、専門知識を持つアドバイザーや起業家、経営コンサル等を講師に招き起業化支援セミナーを開催し起業家意識の啓発、起業時における基本知識の習得を図る。

### ②唐津焼起業アドバイザーによる指導事業

唐津焼窯元や販売店の新事業展開を支援するため、唐津市が委託契約する起業アドバイザー（中小企業診断士等）が窯元従事者や販売店経営者の相談を受け経営指導を行う。

## (3) 唐津焼産地・調査診断事業

唐津焼協同組合は、平成 20 年度事業として、財団法人伝統的工芸品産業振興協会が実施する「産地・調査診断事業」を受けることになっている。

この事業により、専門家による現地調査を実施し、その産業構造や経営手法、マーケティング等についての問題点や対応策について分析・検討し、分析結果を人材養成プログラムや唐津焼拠点づくりネットワーク事業、産地振興に役立てていく。

## 6 計画期間

認定の日から平成 25 年 3 月末

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

「戦略的発想能力を持った唐津焼産業人材養成」プログラムの修了認定に基づき、唐津市、唐津焼協同組合及び佐賀大学からなる企画運営委員会が、各年度および地域再生計画修了後において、計画の目標等について達成状況の評価を行う。

また、プログラム内容及び養成人材の到達度については有識者による外部評価委員会を設置し評価する。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし